

医師国家試験における出題例  
(第101回医師国家試験より抜粋)

(問1)

正しいのはどれか。

- a 分娩第1期は分娩開始から胎児娩出に至る期間である。
- b 分娩第2期は胎児娩出直後から胎盤娩出終了までの期間である。
- c 児頭が骨盤に進入するとき、矢状縫合は骨盤入口に横径に一致する。
- d 第2回旋で児頭は前方に屈曲し、胎児の頸頤部が胸部に接近する。
- e 排臨では陣痛間欠時にも児頭が陰裂間に現れ後退しなくなる。

(1問1分)

(問2)

アスピリン喘息で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 小児よりも成人が多い。
- b 鼻ポリープの合併が多い。
- c ピリンアレルギーである。
- d IgE抗体を介して発症する。
- e ラテックスアレルギーを合併しやすい。

(1問1分)

(問3)

妊婦の膣分泌物培養検査結果で望ましいのはどれか。

- a 培養陰性
- b *Candida* 属陽性
- c *Lactobacillus* 属陽性
- d *Gardnerella vaginalis* 陽性
- e Group B *Streptococcus* <GBS>陽性

(1問1分)

(問4)

産褥期の生理学的特徴で誤っているのはどれか。

- a 造血能が高い。
- b 初乳には免疫グロブリンが多い。
- c 母乳保育は子宮復古を促進する。
- d 循環血液量は経日的に減少する。
- e プロラクチンの血中濃度は妊娠末期よりも高い。

(1問1分)

(問5)

清潔に手袋を装着する操作（別冊 No. 2 ①～⑤）を別に示す。  
適切でないのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

(1問1分)

(問6)

免疫法による便潜血検査の特徴はどれか。

- a 保存条件の影響を受けにくい。
- b 腸内細菌の影響を受けにくい。
- c 食事制限が必要である。
- d 特異度が高い。
- e 感度が低い。

(1問1分)

(問7)

ジギタリスの適応はどれか。

- a 貧血
- b 狭心症
- c 慢性心房細動
- d 完全房室ブロック
- e 甲状腺機能亢進症

(1問1分)

(問8)

閉経後の女性に対するエストロゲン補充療法の禁忌はどれか。

- a 認知症
- b うつ病
- c 骨粗鬆症
- d 高脂血症
- e 静脈血栓症

(1問1分)

(問 9)

ゴールドプラン 21 の基本的目標に含まれないのはどれか。

- a 認知症高齢者数の減少
- b 活力ある高齢者像の構築
- c 支え合う地域社会の形成
- d 高齢者の尊厳の確保と自立支援
- e 利用者から信頼される介護サービスの確立

(1 問 1 分)

(問 10)

成人の安静期で異常値はどれか。

- a 血圧 116/78 mmHg
- b 呼吸数 28/分
- c 体温 36.5 °C
- d 脈拍 68/分
- e 経皮的動脈血酸素飽和度 98 %

(1 問 1 分)

(問 11)

施設とその根拠となる法律の組合せで正しいのはどれか。

- a 特定機能病院-----健康保険法
- b 助産所-----母体保護法
- c 特別養護老人ホーム-----老人福祉法
- d 肢体不自由児施設-----生活保護法
- e 保険薬局-----薬剤師法

(1 問 1 分)

(問 12)

組合せで誤っているのはどれか。

- a 児童相談所-----一時保護
- b 福祉事務所-----生活保護
- c 保健所-----身体障害者手帳の交付
- d 社会福祉法人-----特別養護老人ホーム
- e 民生委員-----社会福祉事業への協力

(1 問 1 分)

(問 1 3)

経鼻内視鏡で上気道を観察する順で正しいのはどれか。

- a 声帯－舌扁桃－軟口蓋－喉頭蓋－耳管開口部
- b 舌扁桃－耳管開口部－軟口蓋－喉頭蓋－声帯
- c 喉頭蓋－声帯－軟口蓋－耳管開口部－舌扁桃
- d 軟口蓋－耳管開口部－舌扁桃－声帯－喉頭蓋
- e 耳管開口部－軟口蓋－舌口蓋－喉頭蓋－声帯

(1 問 1 分)

(問 1 4)

成人患者の自己決定権を尊重する理由はどれか。

- a 医師法の応招義務のため
- b 医事訴訟での責任回避のため
- c 患者の説得には時間がかかるため
- d ヘルシンキ宣言に規定があるため
- e 患者の価値判断を最優先するため

(1 問 1 分)

(問 1 5)

86 歳の男性。ケトン性アシドーシスによる意識障害のため搬入された。入院後インスリン療法で意識は回復し、通常の日常生活に戻る目途がたった。82 歳の妻と 2 人暮らしである。かかりつけ医から耐糖能異常に対して食事療法を受けていたが、入院までは自立した生活を送っており、散歩や庭仕事を楽しんでいた。子供はいない。

退院に向けて重要性が低いのはどれか。

- a 栄養指導
- b 家屋改造
- c ケアカンファレンス
- d かかりつけ医との相談
- e インスリン自己注射の指導

(1 問 2.9 分)

(問 1 6)

死にゆく人の心の動きを、否認、怒り、取引き、抑うつ、受容の 5 段階で表し、ターミナルケアの在り方に影響を与えた作品 “On death and dying” (死ぬ瞬間) の著者は誰か。

- a Mother Teresa (マザー・テレサ)
- b William Osler (ウィリアム・オスラー)
- c Helen Adams Keller (ヘレン・アダムス・ケラー)
- d Albert Schweitzer (アルベルト・シュバイツァー)
- e Elisabeth Kubler-Ross (エリザベス・キューブラーロス)

(1 問 1 分)

(問 17)

85歳の女性。胃癌の末期であと数ヶ月の予後と本人にも告知されている。疼痛等に対する症状コントロールは十分に行われているが、今朝の回診時に主治医に対して「先生、もう早く死なせてほしい」と訴えかけた。

応答として適切なのはどれか。

- a 「今日、明日に死なないので大丈夫ですよ」
- b 「どんなお気持ちか詳しく教えてもらえますか」
- c 「医師が安楽死を手伝うことは禁じられています」
- d 「小説でも読んで気分転換されてはいかがでしょう」
- e 「そんなふうに考えないでがんばって長生きしてください」

(1問 2.9分)

(問 18)

24歳の女性。VDT作業者の健康診断で、頸肩腕部の痛みとしびれ感とが持続すると訴えている。4年前からコンピュータ末端を使用したデータ入力作業に従事している。就労開始後、痛みとしびれ感とを感じはじめ、1か月前から症状が強くなった。

産業医の指導として誤っているのはどれか。

- a 作業の前後、休憩時に体操を実施する。
- b 作業ローテーションの導入を検討する。
- c キーボードの位置を肘の高さに調整する。
- d 午前中の作業量を増やし午後の負担を軽くする。
- e 空調の冷気が頸肩腕部に直接当たらないようにする。

(1問 2.5分)

(問 19)

18歳の男子。1年前から昼夜逆転の生活となり、心配した母親い伴われ来院した。高校2年生までは友人も多く、クラブ活動にも積極的に参加していた。1年前から徐々に口数が減り、最近ほとんど話しをしなくなった。隣人が見張っていると言い出し、部屋のカーテンを1日中閉めたままにしていたり、隣人の悪口を言ったりするようになった。意識は清明。慎重 175cm、体重 56kg。表情は硬く、質問に対してもほとんど返答しない。

適切な治療薬はどれか。

- a 抗てんかん薬
- b 抗精神病薬
- c 抗不安薬
- d 抗うつ薬
- e 睡眠薬

(1問 2.5分)

(問20)

51歳の男性。息切れを主訴に来院した。3か月前から階段昇降時に息切れを自覚し憎悪してきた。弟が35歳で突然死した。意識は清明。身長172cm、体重62kg。呼吸数24/分。脈拍84/分、整。血圧104/64mmHg。III音を聴取する。呼吸音に異常を認めない。心エコー図(別冊No.16 A、B)を別に示す。

治療薬として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a  $\alpha$ 遮断薬
- b  $\beta$ 遮断薬
- c Ca拮抗薬
- d イソピラミド
- e アンジオテンシン変換酵素阻害薬

(1問2.5分)

(問21)

臨床実習中の学生と看護師長との会話を以下に示す。1枚の書類を見ながら話し合っている。

学生 「この書類はどんな目的で使うのですか」

看護師長 「初めて見ましたか。患者さんが自分の医療行為を確認できるようになっているのです」

学生 「確認できるとどうなるのですか」

看護師長 「次にどんなことが行われるか分かっていると安心でしょう」

学生 「そうか。安心感以外に役に立つことがありますか」

看護師長 「点滴などの間違いが起こりそうな時に、自分は今日は点滴の予定がないと分かっていたら防げる可能性が高いでしょう」

学生 「なるほど。医療安全ですか」

看護師長 「それと、医療の質が保証されます。根拠に基づいた医療が心がけられ、病院の医療行為が標準化されますから」

学生 「では、在院日数の短縮にもつながりますか」

看護師長 「もちろんそうです」

医療関係の書類(別冊No.3 ①～⑤)を別に示す。

話題になっているのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

(1問2.9分)

(問 2 2)

次の文を読み、25～27の問いに答えよ。

42歳の男性。今回初めて会社の健康診断で異常を指摘され来院した。

現病歴 : 1年前に管理職に昇任し食事時間が不規則になり、体重が約8kg増加した。

既往歴・家族歴 : 特記すべきことはない。

生活歴 : 飲酒はビール2,000ml/日を10年間。

現病 : 身長172cm、体重80kg。体温36.2℃。脈拍76/分、整。血圧152/92mmHg。

心音と呼吸音とに異常を認めない。肝・脾を触知しない。下肢に浮腫を認めない。

検査所見 : 尿所見: 蛋白(-)、糖(-)、潜血1+、沈さに赤血球5~10/1視野。

血液所見: 赤血球510万、Hb14.5g/dl、Ht46%、白血球7,800、血小板18万。

血清生化学所見: 空腹時血糖118mg/dl、HbA1c5.2% (基準4.3~5.8)、総蛋白7.5g/dl、アルブミン4.2g/dl、尿素窒素12mg/dl、クレアチニン0.6mg/dl、尿酸9.5mg/dl、総コレステロール240mg/dl、トリグリセライド170mg/dl、総ビリルビン1.2mg/dl、AST38IU/l、ALT45IU/l、LDH280IU/l (基準176~353)、ALP120IU/l (基準260以下)、 $\gamma$ -GTP94IU/l (基準8~50)、アミラーゼ136IU/l (基準37~160)、Na140mEq/l、K4.0mEq/l、Cl102mEq/l、Ca10.0mg/dl、P3.2mg/dl。

25 正しいのはどれか。

- a 過去1, 2か月の血糖コントロールは不良である。
- b 血清Caのアルブミン補正は不要である。
- c 血清の外観は乳びである。
- d 尿沈さは蓄尿で再検する。
- e 溶血検体が疑われる。

26 この患者で予想されるのはどれか。

- a 脾の萎縮
- b 内臓脂肪の減少
- c 眼底の綿花様白斑
- d 下肢の振動覚低下
- e 血清インスリン高値

27 正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 肥満症と診断できる。
- b 糖尿病と診断できる。
- c ビールを減らすよう指導する。
- e コルヒチンを処方する。

(3問10分)